

みなみ空知

このまち、南空知が好きになる。

2024年12月7日(土)

今週の注目記事

毎週土曜日発行
購読料/月1,500円税込
1部売り/400円税込
編集・発行 南空企画
岩見沢市上志文町217番地

- 炭炭港認定5周年フォーラム 2
- 岩見沢の玄関口に待望のカフェ 3
- 公明・稲津久氏インタビュー 5
- 北洋銀職員が詐欺防止で感謝状 9
- 美瑛で「いじめ重大事態」発生 15

TKC 企業の黒字決算を支援します

タックス
税理士法人 TACS

岩見沢市5条東2丁目2-17 http://i-tacs.jp
電話(代)22-5050 FAX 25-6209

☎ 0126-35-6695 FAX.0126-35-6696 MAIL.info@nansora.com

場=昨年12月



スキーシーズン到来へ とまった雪

南空知に間もなくスキーシーズンが到来する。各市町のスキー場では今月中〜下旬にオープンを予定。ただ現時点で積雪は少な

北道道グリーンラン積雪は岩見沢市1.7センチ、美瑛市10.7センチなど。6日

は14日、三笠市の桂沢国設スキー場は西側に積雪を予定。岩見沢市の北海道グリーンラン積雪は岩見沢市1.7センチ、美瑛市10.7センチなど。6日

札幌管区气象台によると、5日現在の最深積雪は岩見沢市1.7センチ、美瑛市10.7センチなど。6日

【岩見沢】市の下水汚泥肥料を利用する農家6戸でつくる「岩見沢地区国内肥料資源活用促進協議会」(菅原慎司会長)が11月までに、たい肥化施設を各戸の敷地内に新設した。市からの搬入時期を気にせず、たい肥を適時利用できるように。農家の自主組織が自らでこうした施設を整備するのは道内でも珍しい。

(末永直樹)

市の下水汚泥肥料は、奥行き10・8メートル、高さ8・9メートル。コンクリート製の基礎の外周に沿って鉄骨の躯体が立ち上がり、雨風をしのぐ屋根が付いている。入り口を除く三方に高さ約1・8メートルのコンクリート製の擁壁を巡らせた。1棟目は9月に着工し、11月末までに全棟が完成した。

市は年間3500トンの下水道汚泥肥料を生産(23年度)。このうち2千トンを脱水状態で、



栗沢町岐阜で11月末完成したたい肥化施設

残り1500トンを乾燥状態で、それぞれ農家に提供している。同協議会では脱水状態の肥料を年間900ト受け入れる計画。その分の費用のかかる乾燥処理が不要となり、市は「更新期を過ぎた乾燥機を来年度から休止するめどが立った」と歓迎する。

下水汚泥肥料は田畑にまくと微生物の繁殖が促され、肥よぐ度の高い土が形成されると

同協議会では将来的に1830トの利用を目指す方針。菅原会長(45)は「農家にとって最も大切な土づくりには下水汚泥肥料は

大きな効果がある。その有用性を広く伝えるためにも施設を有効に活用したい」と話している。

たい肥化施設を建設 農家組織 汚泥肥料で資源循環を

シクラメンを販売へ 丹精込めた400鉢

9日からクピド



利用者が育てたシクラメン

【岩見沢】社会福祉法人クピド・フェア市内志文町は9日から、毎年恒例のシクラメンの販売を国道234号沿いの同施設ビルホールハウスで行う。利用者や職員が丹精込

る。販売は、9〜25日の平日午前10時〜午後3時(正午から午後1時までは休憩)に行う。同施設では「今季は暑い日が続いたため花の咲き始めが遅くなっているが、その分春ま